

第 19 回 IOM クラス (総務大臣杯) 全日本選手権大会レース概況

第 19 回 IOM クラス全日本選手権大会 (主催 : JMYS 関東支部、後援 : 総務省・戸田市) が、11 月 3・4 日、全国から精鋭 23 名が集まり、総務省関東総合通信局から吉清課長を向え、埼玉県戸田市の彩湖で開催されました。

両日とも晴天に恵まれ風速は 3~7m/sec と時々白波が立ち、リグ交換を忙しく繰り返しながら 11 レースを行いました。

結果は、優勝 : 竹本孝弘選手、準優勝 : 渡辺和美選手、3 位 : 池松靖之選手と関東勢の独占となりました。特に優勝された竹本選手は、地元の利を得たコース取りとベストチューニングにより艇の性能を充分引き出した帆走で他艇を寄せ付けず、総務大臣杯にふさわしい完全優勝でありました。おめでとうございます。

今回の IOM 全日本選手権大会は昨年の東日本大震災の影響により、大会の延期と開催場所が変更されたため、関東支部主催としては 2 年ぶりの全日本選手権大会でしたが、宮田支部長を筆頭に周到な準備のもと充実したレース運営がおこなわれました。23 名のエントリーでレースマネジメントシステムでの大会運営は、4 名の専属スタッフ、レースオブザバーの明確な役割分担、適切な帆走指示書により、今後の全日本選手権大会の模範となるものでした。普段 IOM で月例レースを楽しんでおられる方が、エントリーせずにボランティアに徹して運営されることには本当に頭が下がる思いです。

又、表彰状授与のため、来られた日本ラジコン電波安全協会の石塚部長は、他のラジコン競技と比較して選手のマナーの良さに感心されていたそうです。

次回の大会での、打倒関東を目指す各支部からのチャレンジが、今から楽しみです。

2012 年 11 月 6 日

兵藤 記